

## ローラン峠 (Brecha de Roland 2807m) を越える旅 (I) スペイン～フランスへ

2014/8.9～8.10 オールマウンテンクラブ メンバー I.O K.O

岩壁がコの字型に裂けている峠として知られる Brecha de Roland はスペインとフランスの国境でもある。ヨーロッパでは GR-11 ルートと呼ばれ人気のコースである。最近では日本からもツアーが企画されているピレネー山脈ならではの国境越トレッキングコースである。

当初計画では高低差の少ないフランス側から登る予定であったが、現地に入ってからスペイン側のオルデサ溪谷から登るルートの方が魅力的であることを知った。その中でも中央岩壁を流れ落ちる大滝の真横を登るコース中には岩登り (フェラータ) があることを知り、このコースからローラン峠を目指すことにした。

ピレネーには、イタリアのミラノからアラニーヤ、トリノ、フランスのリヨン、ラスコー、トゥールーズなどを経由して、8月5日にスペイン側の登山・スキーリゾート地であるベナスケの町に入った。

ベナスケを基地にしてアネト山などを登り、その後トルラに移動してオルデサ溪谷をハイキングする予定であったが、8月7日以降の天気は芳しくない予報であったので、先にオルデサ溪谷の観光を済ますことに変更し8月7日トルラへ移動した。ところが、8月8日のハイキングでオルデサ溪谷の素晴らしさに感動すると共に、軽装備では登ることができない岩場 (フェラータ) に遭遇した。そこで翌日の9日、装備を整えてこのコースからローラン峠を目指すことにした。 ※ルート中のフェラータを紹介している記事

<http://www.youtube.com/watch?v=JeePZmNQdGY>

次ページに示した行程図には、8月9日の登りコースは青丸で、8月10日の下りコースは赤丸で示した。装備としてはフェラータの用意と9ミリサイズ20mロープを持参した。予想以上に行程が長く道に迷ったりしたためローラン峠を越えたところにあるブレッシュローラン小屋 (Refuge de la Breche Roland、別名サラデッツ小屋 2,587m) に宿泊した。この日は土曜日とあって小屋は満員、食堂で寝ることを条件に宿泊させてもらった。

ここに撮影した写真を紹介できないのが残念である。トルラからベナスケに戻りアネト山からの下山中にカメラを紛失してしまったのである。3時間ほど懸命に捜索したが見つからなかった。とても残念である。後日16日にフランス側から登って写真を撮影した。

資料として掲載した地図はトルラのインフォメーションで手に入れたものである。茶色の丸印が大滝で、この横をフェラータで150mほど登ると滝の落ち口に到達する。源流部に開ける台地と眼前の岩壁群がとても素晴らしかった。沢の源流に広がる情景は最大級のもの。

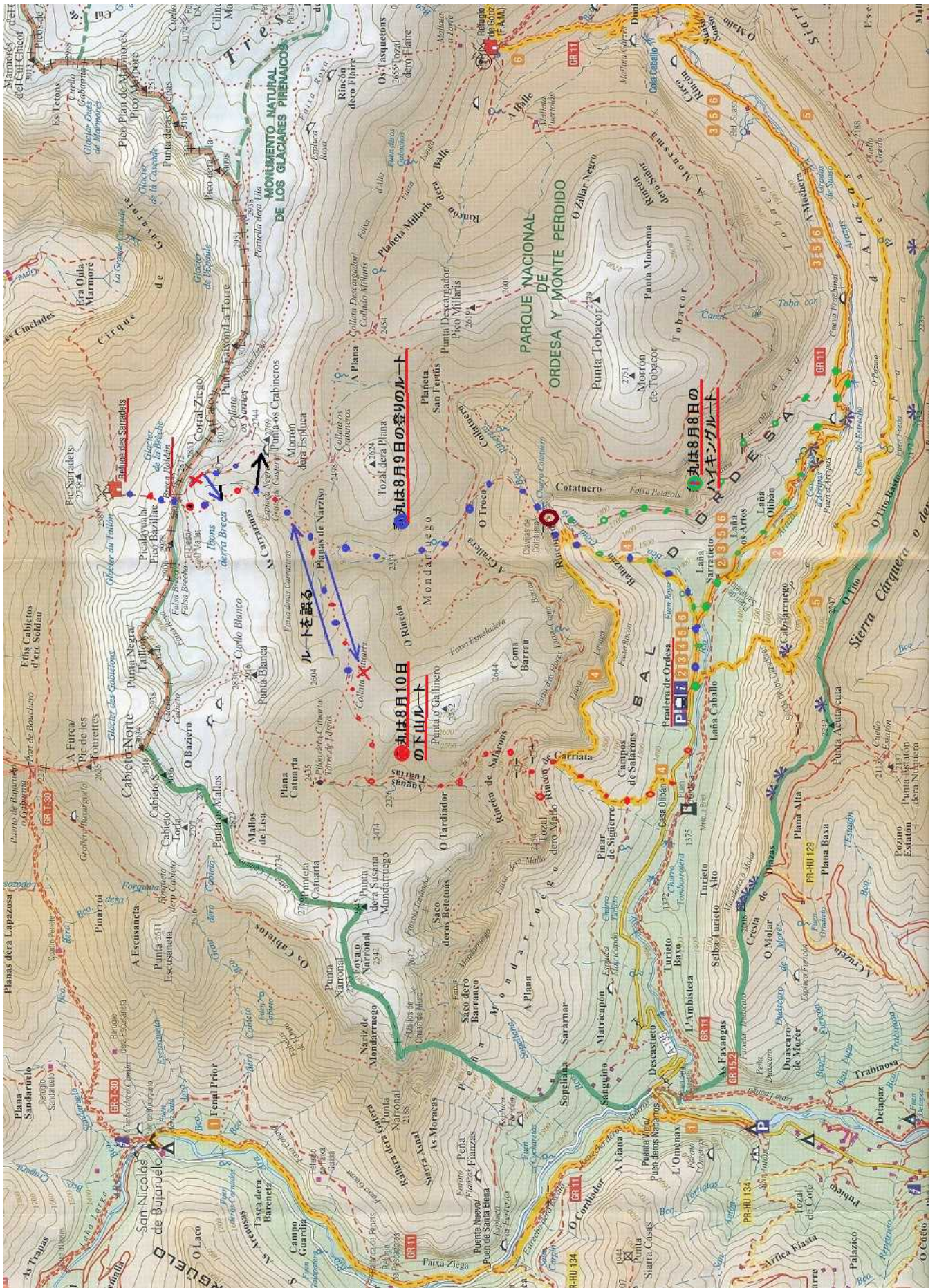
オルデサ溪谷の岩壁は3段になっているため、岩壁を避けながら登らなければならない。岩壁直下に付けられたトレールはスリルがあって感動的。急峻な箇所には鉄杭が打ち込まれているが下降にはロープがあると安心できる。日本のようなハンゴや鎖などはない。

地図に記載されている Breca Roldán はアラゴン語である。国境とも峠とも裂け目とも解釈される。別表記は La Brèche de Roland、Aragonese Breca Roldán、Brecha de Rolando



(転載)





第2岩壁帯を抜けてから、ガスってきたためローラン峠がよく見えず、左方向にルートを大きく間違えてしまった。さらに、元に戻ってから右側のコースをケルンに従って選んだが長いトラバースがあり、しかも急峻なガレとなっていたため危険と判断し、雪渓の残る沢床までいったん下り、左のルートを登り直した。最後になって時間を食ってしまった。

## ローラン峠 (Brecha de Roland 2807m) を越える旅 (Ⅱ) フランス～スペインへ

スペイン側からのローラン峠越えに魅了されたことやカメラを紛失しローラン峠の写真がなかったこと、峠越えトレイルを完歩する目的から当初予定していたフランス側から登る計画を実行することにした。

8月15日、スペインのベナスケを後にしてフランスのルルドに向かった。

翌16日ガヴァルニー(Gavarnie)の村へ移動、ガヴァルニーの大峡谷(La Grande Cascade)の大滝までのハイキングを楽しんだ後、フランス側からローラン峠越えの一般的な起点となっているコル・ド・テンテス(Col de Tentes 2208m)へ車で移動した。途中、広大なスキー場が開発されていた。道路終点には多くの車が駐車されていた。周辺をハイキングする人も多い。



時間の余裕がなかったのでピック・ド・テンテス(2,322m)に登ることは諦め、ローラン峠を目指す。眼前にはエル・タロン(3144m)、ピコス・デ・ガビエット(3031m)などの岩峰が広がる。ブハルエロ峠を越えタロン氷河のそばにあるブレッシュローラン小屋に到着。小屋で少し休憩してからローラン峠を往復する。フランス側はガスで煙っていたが、スペイン側は快晴の天気、ちょうど1週間前の9日にスペイン側から越えたローラン峠に再び立つことができ大満足。これでトレイルが繋がった。

往復の歩行時間は約4時間半、コル・ド・テンテスからは簡単にローラン峠に達することができるが、ガヴァルニー村から歩いて登るか、スペイン側のオルデサから登る方が断然価値があると思う。

※全行程の報告は以下のURLからご覧下さい

<http://allmountain.web.fc2.com/2014houkoku/zenkoutei/zenkiroku.htm>

